

山田 昭子 Akiko Yamada

職 名 研究員  
学 位 博士 (文学)

1. 教育活動

(1) 本学以外における非常勤講師担当科目

授業科目名	年月 (西暦)	大学・その他教育機関等
日本語表現	2010年9月～現在	東洋英和女学院大学学習サポートセンター (スタディコンサルタント)
古典	2011年9月～ 2011年3月	大西学園高等学校
文学	2015年9月～現在	浦和学院専門学校看護学科
日本文学研究7、8 (IV)	2016年4月～現在	専修大学
初級クラス	2016年7月～8月	KCP 地球市民日本語学校

(2) その他

授業以外の教育活動等	年月 (西暦)	摘要
作成した教科書・教材・参考書		
高等学校 新編国語総合 指導と研究 (第一学習社)	2013年3月	8～33頁執筆
高等学校 標準現代文B 指導と研究 (第一学習社)	2014年3月	132～162頁執筆
改訂版 標準国語総合 指導と研究 (第一学習社)	2017年刊行予定	
「日本語表現マスター」(仮題)	2017年4月刊行予定	第一章執筆 (予定)

教育方法・教育実践に関する発表、講演等	年月 (西暦)	摘要
「文章表現講座～エントリーシート執筆を目指して」	2015年8～9月	東洋英和女学院大学において夏季特別講座の講師として「文章表現講座～エントリーシート執筆を目指して」を担当した (全3回)。

その他教育活動上特記すべき事項	年月 (西暦)	摘要
自校史テキストの作成	2015年4月～現在	自校史授業内で使用するテキストの作成

2. 研究活動

研究テーマ	研究概要	2016年度方針・計画
吉屋信子	学会、学会誌への発表、執筆	資料の収集を引き続き行うとともに、周辺作家・事項についても研究を進めていく。
大庭みな子	大庭みな子研究会刊行出版物への執筆	2017年刊行予定の『大庭みな子研究』(仮)への原稿執筆

著書・学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月 (西暦)	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ)	該当頁
(著書)					
『円地文子事典』	共著	2011年4月	鼎書房	芸術至上主義文芸学会 企画・編	151～152、 250、365頁
『大庭みな子全集』第24巻 解題、資料・研究文献	共著	2011年4月	日本経済新聞出版社	大庭利雄監修	313～316、 642～679頁
『現代女性作家読本⑯宮部みゆき』	共著	2013年4月	鼎書房	現代女性作家読本刊行会	124～127頁
『現代女性作家読本⑲山本文緒』	共著	2015年1月	鼎書房	現代女性作家読本刊行会	90～93頁
『菊池寛現代通俗小説事典』	共著	2016年7月	八木書店	片山宏行	239～244、 65～70、 131～136頁
『吉川英治事典』	共著	2016年8月	勉誠出版	志村有弘	268～269
『大庭みな子研究』(仮)	共著	2017年刊行予定	未定	大庭みな子研究会編	「津田梅子―大庭利雄氏保管資料から」
(学術論文)					
「新しき」ボルネオ論	単著	2014年9月	「専修国文」第95号		65～83頁

吉屋信子『安宅家の人々』論 (その他)	共著	2015年1月	「専修国文」第96号	43～62頁	
(実践報告) 自校史授業開講へ向けて1	共著	2015年10月	「関東学院大学高等教育研究・開発センター年報第1号」	山田昭子、杉原亨、千葉隆行	31～35頁
(実践報告) 自校史授業開講へ向けて2	共著	2016年10月 刊行予定	「関東学院大学高等教育研究・開発センター年報第2号」	山田昭子、杉原亨、千葉隆行	
(口頭発表) 「新しき」ボルネオ論	単独	2013年6月16日	第75回日本比較文学学会全国大会 (於名古屋大学)		
(口頭発表) 吉屋信子『安宅家の人々』論	単独	2013年12月14日	第53回昭和文学学会研究集会 (於専修大学)		
(口頭発表) 大庭みな子『津田梅子』— 大庭利雄氏保管資料から —	単独	2014年3月14日	第13回大庭みな子研究会 (於東洋英和女学院大学)		
(口頭発表) 吉屋信子『良人の貞操』論	単独	2015年1月18日	第239回芸術至上主義文芸学会例会 (於品川区立中小企業センター)		
(口頭発表) 少女小説に見る「顔」描写の考察	単独	2016年11月20日	第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウム (於香港大学)		
「関東学院大学高等教育研究・開発センター NEWS LETTER」編集、執筆		2015年8月～現在	関東学院大学高等教育研究・開発センター		
「関東学院大学高等教育研究・開発センター年報」編集、執筆		2015年4月～	関東学院大学高等教育研究・開発センター		